

タニザワ式

ジョイントカバー

〔布製送風管の完全接続器具〕（特許申請中）

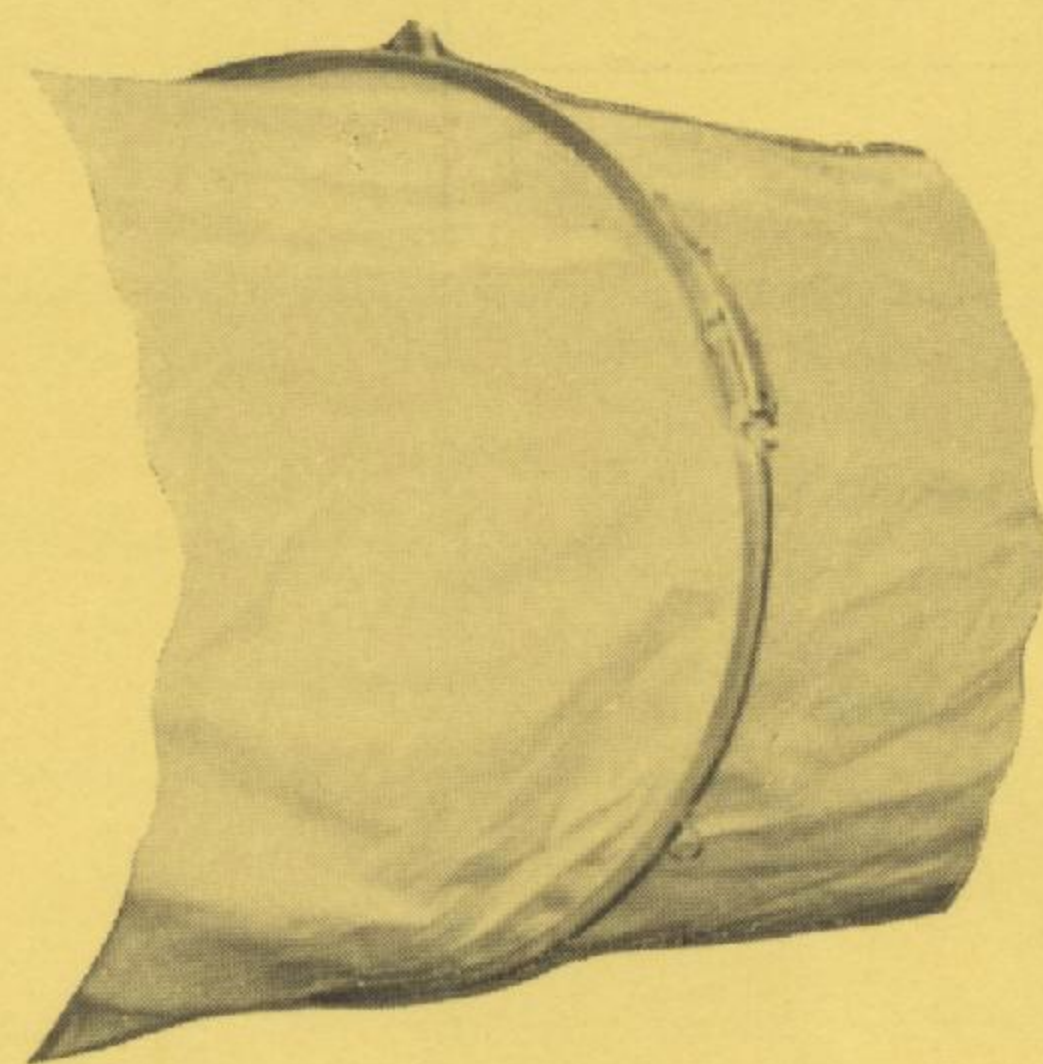
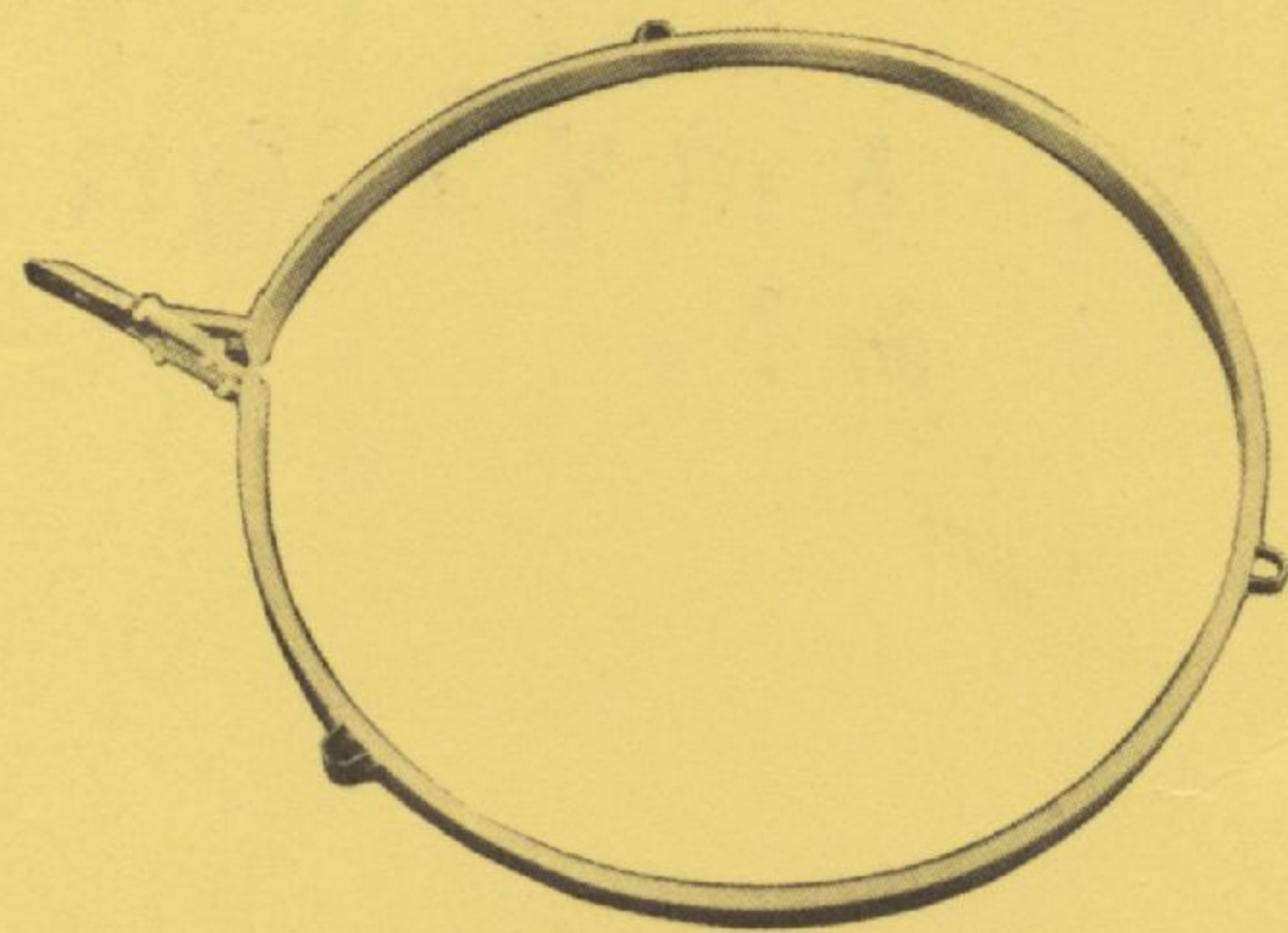
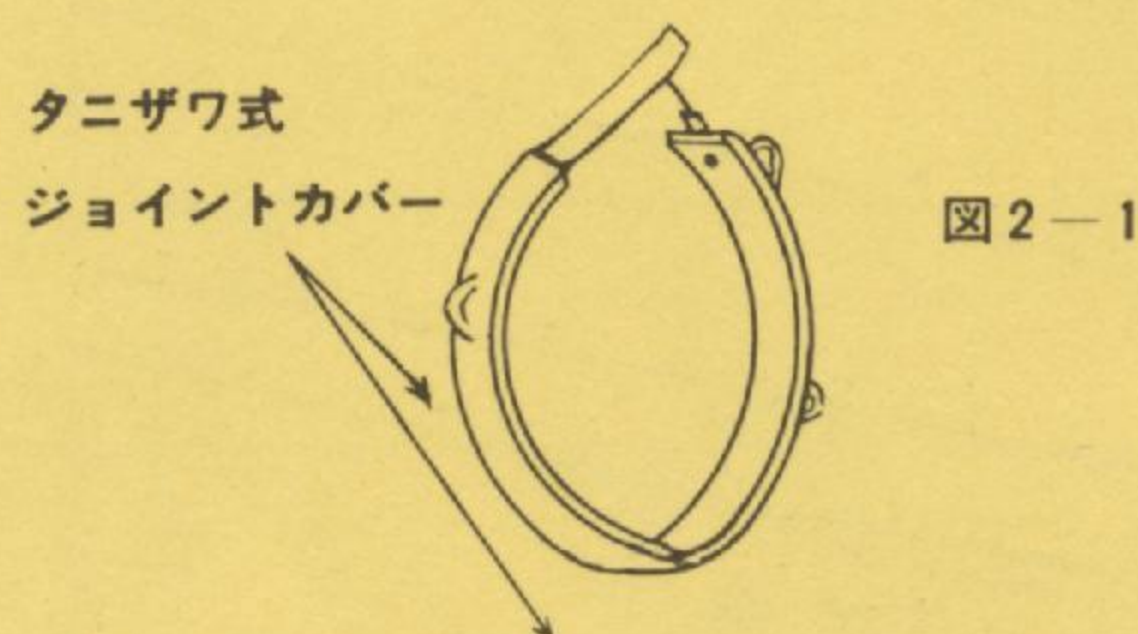
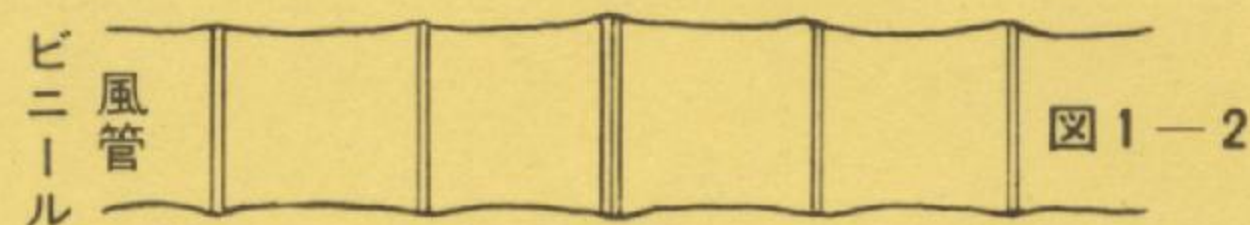
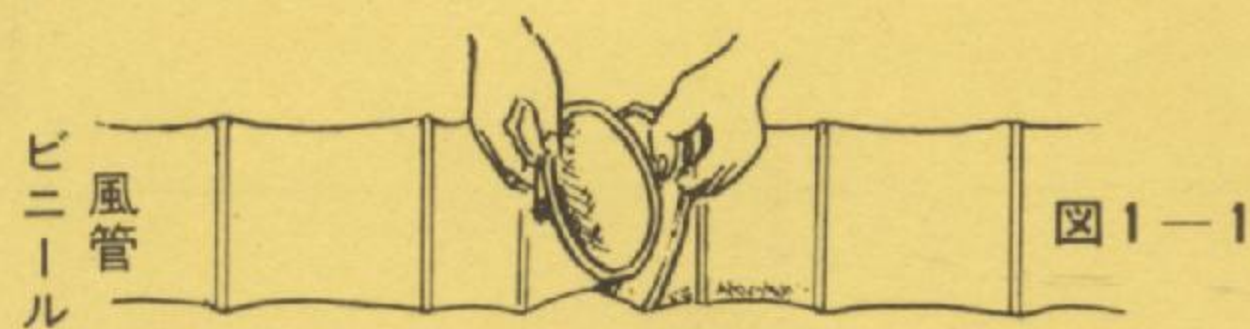
〔説明〕

通常布製風管を接続するときは、一方のリングを他方のリングに挿入し引き戻して安定させるのですが、この儘ですと風管が長くなると漏風がバカになりません。亦風管の径が大きくなると接続箇所が外れる場合も生じかねません。このリングの接続箇所にタニザワ式ジョイントカバーを使用しますと漏風を防ぎ、リングの外れを完全に防ぐことができます。経済的で取扱いも至極簡単です。是非お試し下さい。

尚、裏面の試験成績表をご参照下さい。

〔使用方法〕

(1)風管を接続するときは図1-1に示す通り一方のリングを歪めて楕円形とし他方のリングの下に押し込み図1-2のように引きもどして安定させ図2-1のタニザワ式ジョイントカバーを図2-2のように図1-2のジョイントの上にカバーを締めつけます。接続箇所はこれで絶対に外れることはありません。



風管呼称径

400 ϕ 、500 ϕ 、550 ϕ 、600 ϕ 、700 ϕ

750 ϕ 、800 ϕ 、900 ϕ 、1,000 ϕ

産業安全用具一式製造販売



株式会社 谷 沢 製 作 所

本社(〒104) 東京都中央区銀座 5-11-4 | TEL03-543-9051(代表)

タニザワ式ジョイントカバーを使用した場合の 風管の漏風試験結果について

○試験風管

谷沢製作所製 直径750mmφナイロン風管

試験場所 北海道大学工学部資源開発工学科開発機械研究室

試験月日 昭和47年12月

○試験の結果

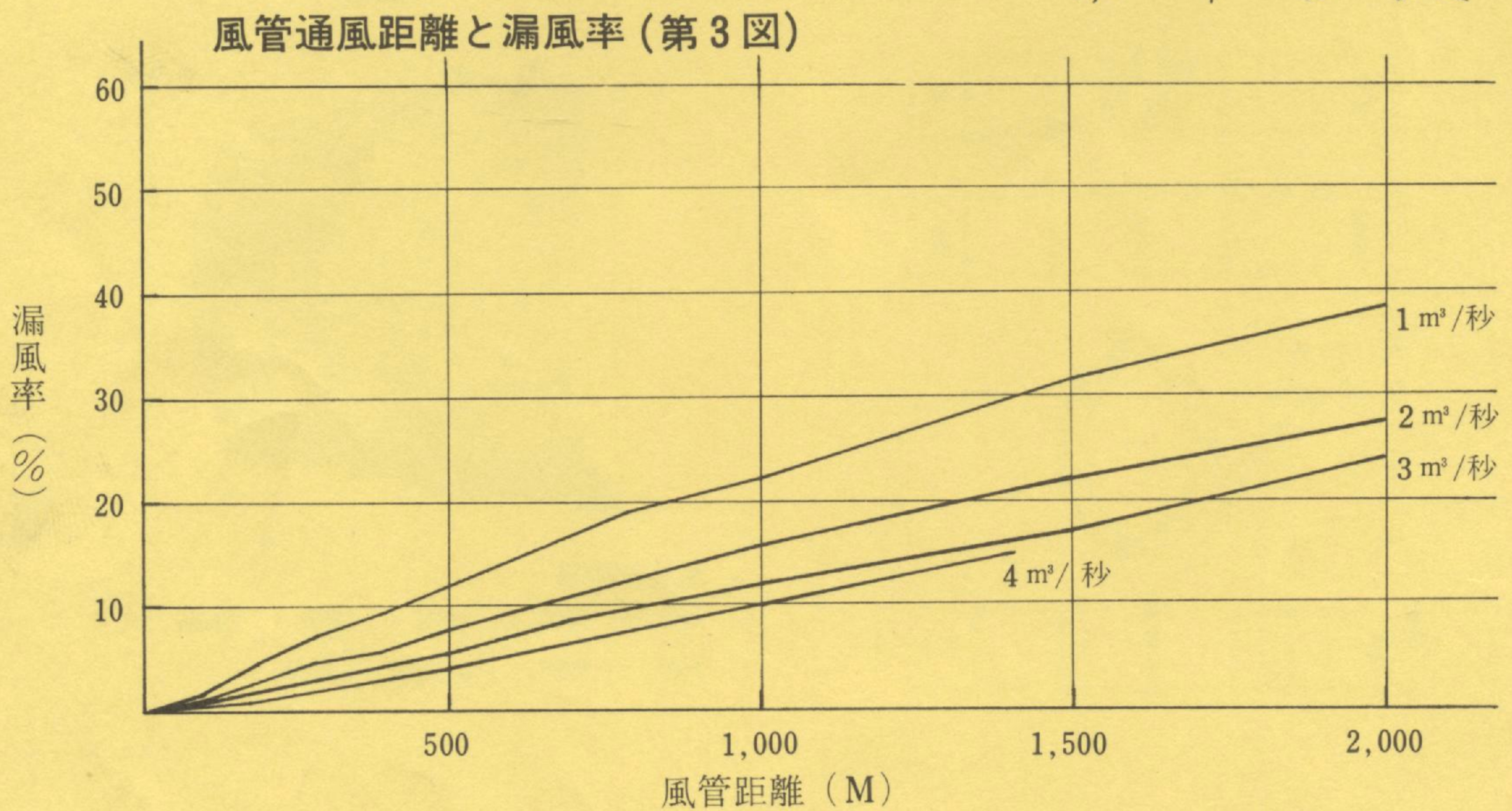
当風管の継手からの漏風は比較的少く充分実用的なものと判断される。特に圧力の高い場合に漏風が少ないのが特長と考えられる。但し継手のバンドを締めるとき、不用意に行なうと、しゅうが生じて漏風率を増加する恐れがある。当風管の漏風率については、次の図に示すとおりである。

以上

昭和48年 1月 20日

北海道大学教授

木下 稔 教



御用の節は下記営業所へ

札幌 011-551-2744
 苫小牧 01442-4-2416
 吉岡 01394-7-2305
 大館 01864-2-4563
 盛岡 0196-24-4406
 郡山 0249-32-4342

仙台 0222-47-2137
 東京 03-543-9051
 千葉 0472-27-4626
 横浜 045-461-0928
 名古屋 052-821-9936
 大阪 06-303-3491

神戸 078-371-0797
 四国 0878-86-0647
 広島 0822-91-0888
 倉敷 0864-65-0624
 九州 093-571-6838
 福岡 092-59-4604